

令和5年度 京都市立嵐山東小学校 学校経営方針

京都市のめざす子ども像

伝統と文化を受け継ぎ 次代と自らの未来を創造する子ども

小中一貫教育目標（松尾中学校・松尾小学校・嵐山東小学校）

未来社会の中でよりよく生きていける力の育成

～ 自ら律する力、多様性の中での協働力、探究力 ～

松尾中学校学校教育目標

自律（自己指導力の育成） 協働（相互交流力の育成） 探究（探究する力の育成）

京都市立嵐山東小学校学校教育目標

自ら進んで学び 人やもの・地域と豊かにかかわる子どもの育成

なりたい自分に向かって、やってみよう やりきろう

子どもたちが生きていく未来は、社会構造が急激に変化し、予測困難と言われている。その中で、一人ひとりの多様な幸せと社会全体の幸せを実現するために、自分らしい生き方を探究し、持続可能でよりよい社会の創り手となる子どもを育ていきたい。

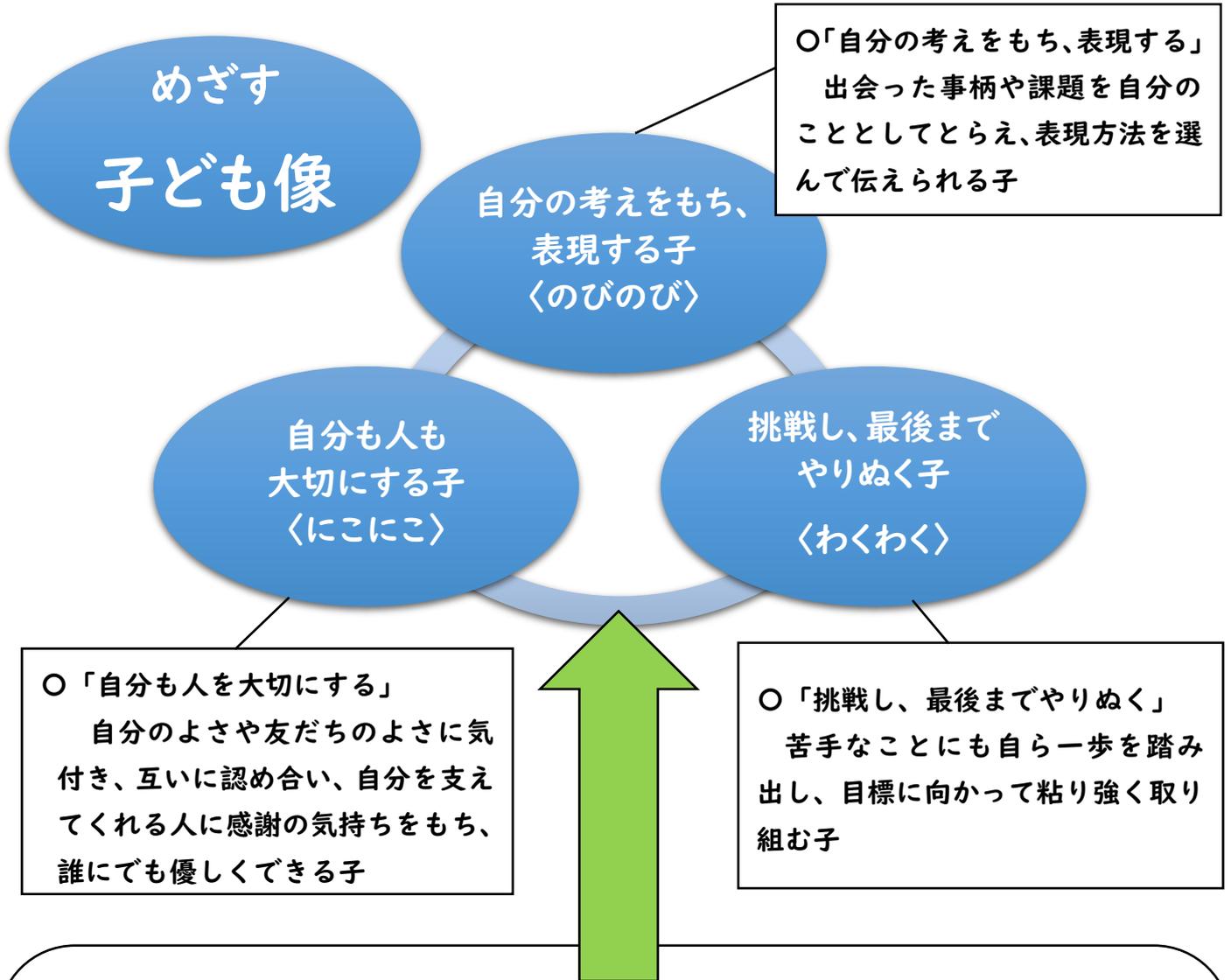
そのために、次の2つの力の向上を目指す。

○「自ら学ぶ力」

学ぶことに興味や関心を持ち、自分の生き方と関連付けながら目標実現への見通しをもって粘り強く取り組むとともに、自分の学習活動を振り返り、学びをよりよい方向に調整し、他者とも協働できる力

○「自ら律する力」

地域・社会とのかかわりの中で、他者への思いやりや寛容、人と人との絆の大切さを実感し他者と協調しつつ、自らの生活や人生、地域・社会をよりよくするため、時と場合に応じた正しい判断と行動ができる力



組織的に取り組み、高め合う教職員

教育者としての職責を自覚し、確かな専門性と指導力を身に付ける。

豊かな人間性と情熱をもち、子ども一人一人を大切にする。

広い視野をもち、目標に向かって協働する。

めざす学校像

**豊かな関わり合いを通して、
共に育ち、共に伸びる 嵐山東小学校**

地域の方をはじめ、様々な人と交流する体験活動等を通した「社会に開かれた教育課程」を展開することにより、「子どもたちも教職員も自らの成長を実感できる学校」を創る。

令和5年度の重点項目

学校教育目標の実現に向けて、京都市の「学校教育の重点」と本校の実態、これまでの取組の経緯を踏まえ、特色ある取組を展開する。また、中学校区を基盤に、子どもの実態や課題を踏まえて小小連携や小中連携を図り、9年間を見通した学習指導・生徒指導を推進していく。

